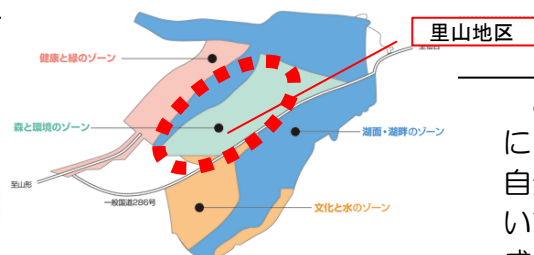




森の楽校だより VOL. 13



森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 23 年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。

2月4日（土）晴れ テッキの床板を仮置きしました！

例年になく多くの雪が降りました。
新雪の中の活動でした！



ファーストデッキの床板として、大径木のスギ材をタテに挽いて板材を作ってきました。

デッキの大引が、すべて建て込みできたので、床板を仮置きして全体のイメージをつかみました。板材は、残り半分くらい必要です。まだまだ板挽きが必要です。



↑デッキ下の空間です。地面と高低差がある所は、結構、高さがあるって、ここで雨宿りもできそう！



←床板は厚さ 4cm と、かなり厚い板です。人が乗ってもしっかっています。これを金物で固定します。

根太かけ

ホストツリーを挟んで、両側にデッキを広げます。先週で、支柱、大引きの建て込みが終了。その上に根太を掛けていきます。

大引きにホゾを切ったり、細かな作業が続きます。この作業が終わると、構造体ができあがります。



倉庫の増作

倉庫の棚板を工夫して、使いやすくしました。棚の段数を増やし、棧にかけて、構造もしっかりさせました。



お昼のどんらん

休憩スペースにシートの屋根をかけて、煙突を伸ばしたので快適な空間になりました。今日も、味噌汁で体を温めました。



雪の里山です。

